

月報 シオン山

2023年12月3日発行 (No399)

日本バプテストシオン山教会

☎803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel(093)561-0772 Fax(093)561-0760 E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

【月間聖句】

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。
独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

ヨハネによる福音書3章16節

クリスマスによせて

守田牧子

いよいよ待降節を迎えました。皆さまお一人お一人に良きクリスマスの思い出が{o}ありの事でしょう。私の子供の時のクリスマスの思い出は一度だけ、母親が家でケーキを焼いてくれて、とても美味しかったこと、翌朝目覚めると枕元にプレゼントがあり、とても嬉しかった思い出があります。

さて、西南女学院卒業後、シオン山幼稚園に勤務して真のクリスマスを理解し、その準備をするのがとても楽しくなりました。生誕劇の衣装や舞台背景を自分なりに作成したり、また國田のおじちゃんと木の枝でリースを作ったりと。その後、合唱団に入りマタイ受難曲演奏を通じて、信仰が与えられました。メサイアや受難曲の演奏会はみ言葉について考え、新たな恵みを得てとても喜びでした。

さて、マタイ受難曲のソリストで小倉でも二度も共演して下さったフリガー氏のクリスマス曲コンサート(1993. 12. 24)の思い出を。

その時、彼は古きドイツのクリスマスと題してクリスマスキャロル独唱とお話をしてくださいました。冬のドイツはとても寒くて暗い。イヴ礼拝に家族揃って参加し、礼拝後、教会に飾っているツリーのローソクから手に持つローソクへ灯火を移して自宅へと。真っ暗な夜道をそのローソクの灯を消えないよう注意して持ち帰ります。灯りは心を暖かくし、足元も明るくて、平安な思いとなり帰ります。帰宅すると自宅のツリーのローソクに灯火を移してツリー全体を飾るのです。そのツリーの明かりはとても心を暖かくし、主のご誕生を心からお祝いしましたと語られました。

冬のザルツブルグへ旅したおり、店先にローソクの形の電球飾が付いたツリー飾りがありました。その時買って帰ればよかったと。次に旅した時は季節も異なり、残念ながらそのお店にはありませんでした。毎年、12月早々にツリーを飾ります。そしてカードの準備も。準備の時は何故か心温かになります。

あなたはわたしのともしびをともし

わが神、主はわたしのやみを照されます

詩編 18:28

2023年クリスマスが皆さま方と共に恵み豊かな時でありますようにと心から願っています。